

## 会社概要

資本金 2,000万円

設立 平成5年1月

代表者 代表取締役社長 延原 吉紀

### 製造品目

分類	JIS番号	製品名称	種類の記号	製造工場		
				本社	九州	関東
JIS規格品	JIS G 3532	鉄線	SWM-B SWM-P	○	○	○
	JIS G 3558	ねじり角鉄線	SWM-T	○	○	○
	JIS G 3551	溶接金網	WFP WFP-D	○	○	○
		鉄筋格子	BFSR235、BFSR235-D BFSD295A、BFSD295A-D BFSD345、BFSD345-D	○	—	—
	JIS G 3559	ねじり角鉄線を用いた溶接金網	WFT WFT-D	○	○	○

当社工場は、JICQAより、表の通りの認証を取得しております。

### 認証状況

JIS G 3532、JIS G 3558 認証番号	JIS G 3551、JIS G 3559 認証番号
本社工場 …… QA0615001	本社工場 …… QA0606001
九州工場 …… QA0820002	九州工場 …… QA0820003
関東工場 …… QA0320001	関東工場 …… QA0320002

取引銀行 中国銀行 三石支店  
みずほ銀行 岡山支店  
三菱東京UFJ銀行 岡山支店

商号 株式会社 ノブハラ

本 社 〒705-0133 岡山県備前市  
八木山 849-7  
TEL 0869-62-2340  
FAX 0869-62-2256

九州工場 〒836-0067 福岡県大牟田市四山町  
79-27 みなと産業団地内  
TEL 0944-53-1177  
FAX 0944-53-2227

東海工場 〒505-0074 岐阜県加茂郡坂祝町  
酒倉字北高見 2008番5  
TEL 0574-48-8293  
FAX 0574-48-8294

関東工場 〒321-3563 栃木県芳賀郡茂木町  
大字林字春草 930番23  
TEL 0285-81-3939  
FAX 0285-81-3938

## 閃きを輝きに 製品総合カタログ

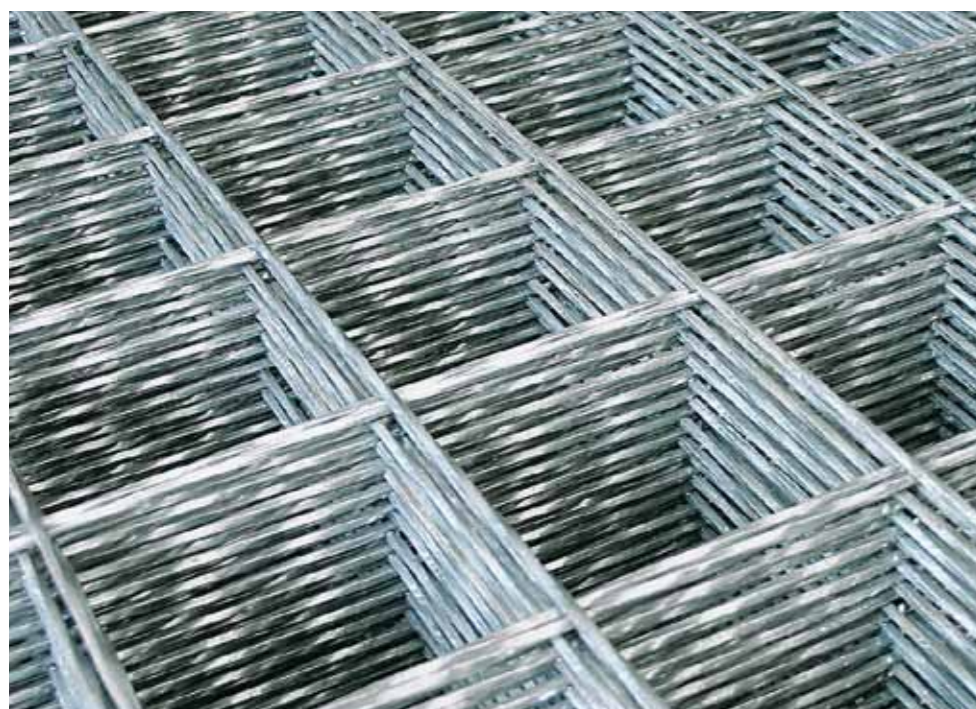
建築用金網から防獣用金網まで、  
様々なニーズに応える柔軟な技術力



## ノブハラの新開発

# スクリューメッシュ®

さらに強く、コンクリートの付着率が高いスクリューバーを「大量生産」できる製作機械の新開発に成功しました。



強度向上

軽量化

コンクリートの付着率強化

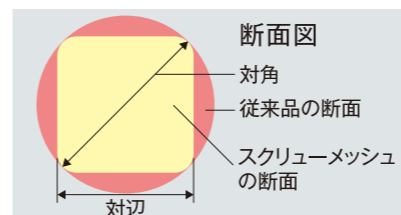
**NETIS** 登録技術  
New Technology Information System  
登録番号:CG-140013-VE  
国土交通省新技術情報提供システム

### スクリューメッシュ®規格

対辺(mm)	対角(mm)	網目(mm)	サイズ 幅(m)×長さ(m)	重量(kg/m <sup>2</sup> )
4.0	5.0	50×50	1×2 -	4.84
		100×100	1×2 2×4	2.42
		150×150	1×2 2×4	1.69
4.5	5.5	100×100	1×2 2×4	3.09
		150×150	1×2 2×4	2.16
5.0	6.0	50×50	1×2 -	7.32
		75×75	1×2 -	5.03
		100×100	1×2 2×4	3.66
		150×150	1×2 2×4	2.56
		200×200	1×2 2×4	1.83

※従来のワイヤーメッシュと同じく、2m×4m、2m×1m他、別注サイズも製作可能です。

## 断面を円形から四角形に変えて軽量化

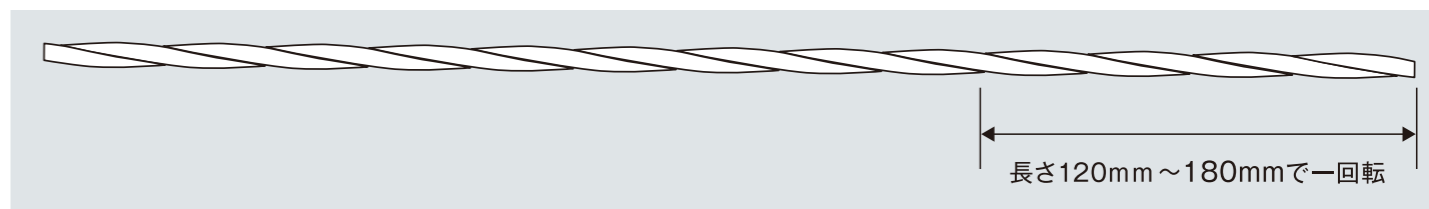


従来のワイヤーメッシュは丸鋼(断面が円形の鉄線)を使用しておりますが、スクリューメッシュは断面が四角形の鉄線を使用しており、図の赤い部分の材料が削減されています。

## 断面が四角形の鉄線をねじることで、強度を向上

スクリューバーは断面が四角形の鉄線にねじりを加えることで、鉄線の強度である引張強さを向上させています。

鉄線の長さ120mm~180mmで一回転させています。



## スクリューメッシュ®の強度試験結果 (当社試験)

※対辺4mm/対角5mm、網目150mm、サイズ1m×2mの場合



項目	スクリューメッシュ®	備考
1枚当り重量(kg)	3.388	
引張強さ(N/mm <sup>2</sup> )	689	線材自体の強度
溶接点せん断強さ(N/mm <sup>2</sup> )	448	溶接点の強度
絞り(%)	51	元断面積と破断面積の差

JIS規格 引張強さ…490N以上 せん断強さ…220N以上 絞り…30%以上

- 四角な断面の鉄線を120mm~180mmで1回転ねじっています。この鉄線をスクリューバーと呼びます。
- スクリューメッシュ®に使用するスクリューバーは、引張り強さが向上しております。
- 鉄線の角にR加工を施してあるため、安全性、流動性作業に優れています。
- 既存のワイヤーメッシュに比べ、スクリューバーを使用する事により、コンクリートの付着性が向上しております。



# JIS G 3551 溶接金網

## ワイヤメッシュ



製品規格 及び 重量表

線径 (mm)	網目 (mm)	サイズ 幅(m)×長さ(m)	重量 kg/m <sup>2</sup>
Ø2.6	50×50	1×2 -	1.67
	100×100	1×2 -	0.83
Ø3.2	50×50	1×2 -	2.52
	75×75	1×2 -	1.73
	100×100	1×2 2×4	1.26
	150×150	1×2 2×4	0.88
Ø4.0	50×50	1×2 -	3.99
	100×100	1×2 2×4	1.97
	150×150	1×2 2×4	1.38
Ø5.0	50×50	1×2 -	6.16
	100×100	1×2 2×4	3.08
	150×150	1×2 2×4	2.16
Ø5.5	100×100	1×2 2×4	3.73
	150×150	1×2 2×4	2.61
Ø6.0	50×50	1×2 -	8.88
	75×75	1×2 -	6.10
	100×100	1×2 2×4	4.44
	150×150	1×2 2×4	3.11
	200×200	1×2 2×4	2.22

※表示以外の商品(網目・サイズ)につきましても多種多様に対応致します。

## 鉄筋メッシュ(バーメッシュ)



製品規格

線径 (mm)	網目 (mm)	サイズ 幅(m)×長さ(m)
D6	100×100	1×2 2×4
	150×150	1×2 2×4
	200×200	1×2 2×4
D10	100×100	1×2 2×4
	150×150	1×2 2×4
	200×200	1×2 2×4
	250×250	1×2 2×4
D13	100×100	1×2 2×4
	150×150	1×2 2×4
	200×200	1×2 2×4
	250×250	1×2 2×4

- 用途**
- ビルの床・壁・天井・階段などの配筋
  - 道路・橋梁などの配筋
  - 会社・工場構内通路の舗装
  - プール・用水路・護岸・ダム工事の配筋
  - 住宅・庭園・ハイウェイ外装用危険防止柵

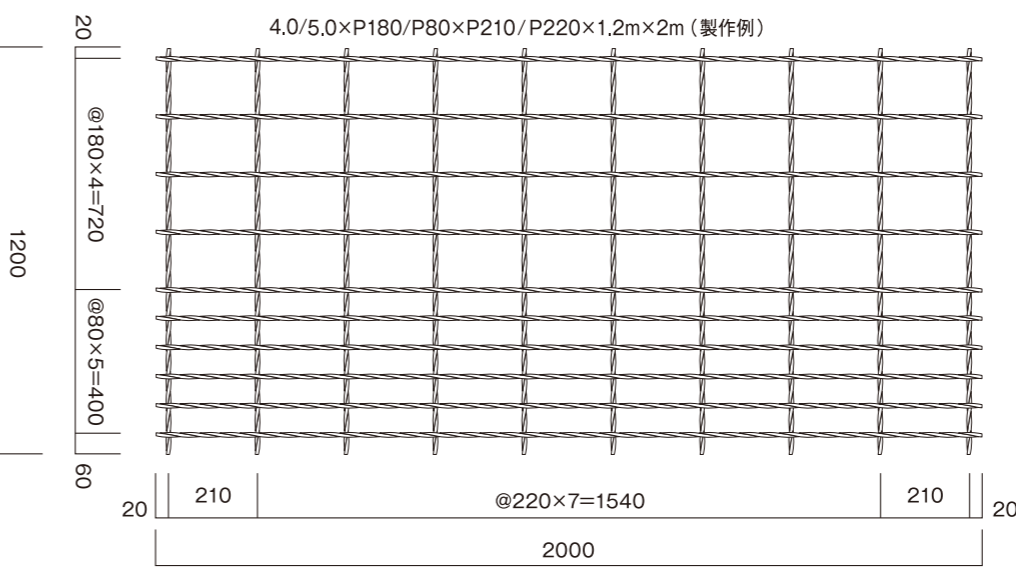
- 特長**
- 経済的な補強材です。**  
他の補強材に比べて大きな荷重に耐え、亀裂の発生を防ぎ、補修費の節減になります。
  - 鋼材やコンクリート量が軽減できます。**  
ワイヤメッシュの使用によりコンクリートの強度を高め、壁や床などの厚さを節減することができます。高層建築に要求される重量の軽減に大きな効果があります。

- 屋根下地材(木毛板など)の下地押さえ
  - インテリア・アートメッシュ
  - 防獣用ワイヤメッシュ
  - トンネル用各種鉄筋メッシュ
- 作業時間が短縮できます。**  
現場での組み合わせや結束の手間がかからず、人員と作業時間が節減できます。
  - 豊富な種類があります。**  
鉄線または異形棒鋼を使用し、網目も標準のものから特注品までと種類も豊富です。用途に応じて最適なものを構造筋あるいは補強筋としてご使用になれます。

# 防獣用金網(ガードフェンス)

## 特長

- イノシシ・シカ・その他小動物等から田畑を守る防獣用スクリーメッシュ®です。
- 下部の網目を細かくしてありますので、小動物の侵入防止にも効果的です。



対辺 (mm)	対角 (mm)	網目 (mm)	サイズ 高さ(m)×幅(m)
4.0	5.0	P180/P80×P210/P220	1.2m×2m
			1.5m×2m
			2.0m×2m

※防獣用(イノシシ、シカ、その他小動物)スクリーメッシュ®です。  
※左記は定番サイズとなりますが、線径、寸法、ピッチ(網目)は多種多様に作成できます。

- 使用する材料を選べます。
- スクリーバー
  - 普通鉄線
  - 亜鉛メッキ線
  - ドブ付亜鉛メッキ加工



## 支柱用トンガリ鉄筋



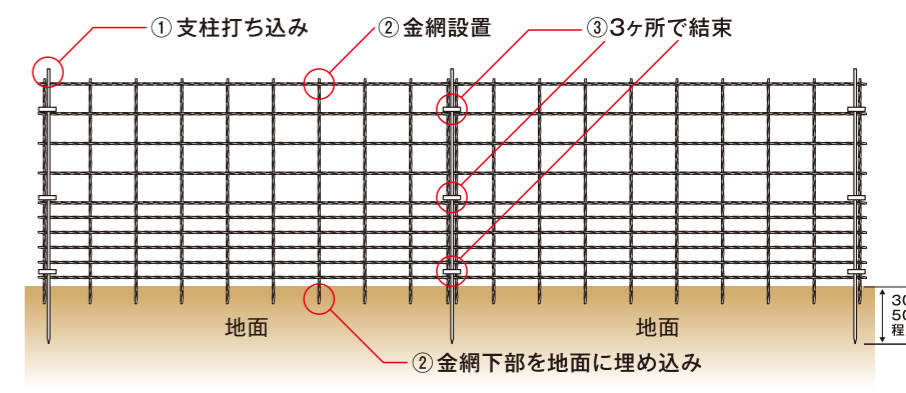
防獣金網用の鉄筋(支柱用)です。先端にトンガリ加工が施されており、施工の際に打ち込みが楽にできます。(JIS規格鉄筋を使用しています。)(お取り扱いできない工場もございます。)

鉄筋径 (mm)	長さ (mm)	
D13	L=1375	L=1500
D16	L=2000	L=2500

## カンタン施工 3STEP

単純な設置方法なので、誰にでもカンタンに施工していただけます。

- 1 ハンマー等で地中30~50センチまで支柱を打ち込みます。
- 2 金網下部を地面に埋め込んで、1で打ち込んだ支柱に金網を設置します。
- 3 支柱と金網を、上・中・下3ヶ所で結束します。





# JIS G 3532 鉄線



(株)ノブハラは  
お客様のニーズにお応えして  
様々な鉄線をご用意致します。

## 線の種類

SWM-P	コンクリート用鉄線
SWM-B	普通鉄線

※線の種類をお選び下さい。

## 適用線径

2.6mm~7.0mm
-------------

## 丸鉄線の許容差

線径(mm)	SWM-B	SWM-P
2.00を超え 2.90以下	±0.04	±0.06
2.90を超え 3.20以下		±0.08
3.20を超え 4.00以下	±0.05	±0.10
4.00を超え 6.00以下		±0.13
6.00を超えるもの	±0.06	±0.13

※線径をお選び下さい。

## 引張特性

線径(mm)	SWM-B		SWM-P	
	引張強さ(mm <sup>2</sup> )	引張強さ(mm <sup>2</sup> )	引張強さ(mm <sup>2</sup> )	絞り(%)
2.60	540~1130	540以上	30以上	
2.90				
3.20				
3.50	440~1030	540以上	30以上	
4.00				
4.50				
5.00	390~930	540以上	30以上	
5.50				
6.00				
6.50				
7.00				

※必要な強度をお申し付け下さい。

## 取得特許

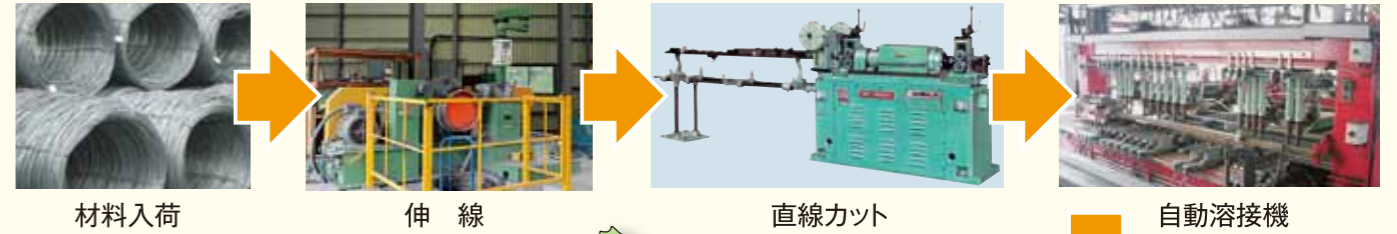
特許第6031654号



多角形断面線材用ダイス

- 特許第6031654号 多角形断面線材用ダイス
- 特許第6078813号 スクリューバー製造装置 及び スクリューバー製造方法
- 特許第6300871号 引抜加工機 及び ツイストバーの製造方法
- 特許第6567594号 スクリューバー製造方法
- 特許第6615737号 メッキ済み完成線材
- 特許第6800819号 引抜加工用のダイス
- 特許第6818526号 単位長さあたりの振じり量を増したスクリューバーの製造装置

## 製造フロー



## 沿革

- 平成4年 延原鉄工所 個人操業開始 (溶接機1台)
- 平成5年 資本金300万円で「有限会社延原製作所」設立 第一工場(木造)完成 スポット溶接機 4台導入 各種金網の製造、加工及び販売開始
- 平成17年 建設業の許可(鉄筋工事)取得 第二工場 増築 自動溶接機 6号機 導入(20点打ち) (株)ダイショウ設立(販売会社)
- 平成18年 自動溶接機 4号機 更新(20点打ち) 自動溶接機 1号機 更新(20点打ち) 資本金2,000万円に増資 溶接金網 日本工業規格表示認証取得 JIS G3551
- 平成20年 伸線工場 増設 連続伸線機 4台導入
- 平成22年 6月 「株式会社ノブハラ」に社名変更
- 平成23年 5月 (株)ノブハラ東海工場 稼働開始
- 平成24年 5月 全自動溶接機 3台導入 生産能力(月産/3000t~)
- 平成25年 2月 防獣対策事業部設立
- 平成25年 8月 新製品 スクリューバー 本社新工場 稼働開始
- 平成26年 9月 九州拠点開設
- 平成26年 12月 スクリューメッシュ®にて NETIS 取得 (国土交通省新技術活用システム) 登録番号 CG-140013
- 平成27年 4月 ネオスクリュー(株)設立 (スクリューメッシュ®専用工場)
- 平成27年 4月 福岡県大牟田市に九州営業部開設 8月1日 九州工場稼働開始
- 平成27年 6月 スクリューメッシュ®にて 中小企業振興財団・日刊工業新聞 共催 第27回「中小企業優秀新技術・新製品賞」 「奨励賞」受賞
- 平成27年 11月 スクリューメッシュ®にて 第6回ものづくり日本大賞 「中国経済産業局長賞」受賞
- 平成28年 3月 鉄線 日本工業規格表示認証取得 JIS G3532
- 平成28年 10月 新しい伸線機を導入
- 平成28年 11月 多角形断面線材用ダイス 特許取得
- 平成29年 1月 スクリューバー製造装置及び スクリューバー製造方法 特許取得
- 平成29年 9月 栃木県芳賀郡に関東工場を開設 関東工場稼働開始
- 平成30年 3月 引抜加工機及びツイストバーの製造方法 特許取得
- 令和1年 7月 法改正により、日本工業規格を日本産業規格に変更
- 令和1年 8月 スクリューバー製造方法 特許取得
- 令和1年 11月 メッキ済み完成線材 特許取得
- 令和3年 2月 スクリューメッシュ®がNETIS登録番号・情報種別記号CG-140013-Aから CG-140013-VEに変更される
- 令和3年 4月 全4工場で個別にJISマーク認証を取得
- 令和3年 6月 専務取締役である延原吉紀が 代表取締役社長に就任し 延原氏は代表取締役会長となる